



わがまちミュージアム

コレミテ

vol. 05

県指定無形民俗文化財

郷土芸能 棒の手

祭礼などで、棒を武器として使用した演技を奉納する警固の一つです。現在も、猿投神社をはじめ市内各地の神社で奉納されています。棒や刀、やり、かまなどが使われ、主に2人から4人が決められた型に基づいて打ち合います。



ぜひあなたに見てほしい。
そんな推しの「コレ」を博物館や民芸館、美術館などが紹介します。

今年度も
市内各地で棒の手
イベント開催予定！
詳しくはHP

紹介者
文化財課



とよた棒の手保存会
ホームページ



棒の手は、現在でも市内25か所の地域で伝承されており、各棒の手保存会の皆さんが本番(奉納)に向けて、日々、練習をしています。棒の手をはじめ、お囃子、農村歌舞伎、風流踊^{ふりゅうおどり}、神楽など市内に伝わる無形民俗文化財は、地域の人たちのたゆまぬ努力により古くから守り伝えられています。ぜひ、現地でその思いと歴史を体感してください。

推しのポイント



第56回 豊田おいでんまつり

7月27日 おいでん総踊り、28日 花火大会

まちを彩る、花が咲く

6月の「マイタウンおいでん」から始まった「豊田おいでんまつり」。総踊りのオープニングでは、水鉄砲などで水をかけ合う新企画「スプラッシュおいでん」も加わり、いっときの涼とともに子どもも大人も踊りを楽しんでいました。

今年も、個性豊かな踊り連と職人の技が光る花火大会で、豊田の夏が色鮮やかに彩られました。

ダイアリー おおた市長

8月5日

環境大臣からPCB廃棄物の処理に関する感謝状の贈呈を受けました



この日、八木哲也環境副大臣が豊田市を訪問され、豊田市が高濃度PCB廃棄物の確実かつ適正な処理の推進に大きく貢献したとして、感謝状の贈呈を受けました。PCB（ポリ塩化ビフェニル）は、人工的に作られた主に油状の科学物質で、過去に変圧器やコンデンサの絶縁油などに使用されていました。廃棄物になったものは、人体に有害であることから「PCB廃棄物」として特別な保管・処分を行う必要があります。豊田市は、国が行う高濃度PCB廃棄物の処理事業について、地域住民の理解のもと、拠点の広域処理施設の立地への協力や、安全操業のための監視指導を行ってきました。今後も国と連携し、持続可能な未来に向けて、様々な環境問題にしっかりと取り組んでいきます。